



ぶらさdaわかば 「わかばさん」募集

「ぶらさdaわかば」
とは？

- 日本語教育の世界で皆さんの少し先を歩いている「センパイ」とぶらさ(広場:今回はオンライン!)で出会い、40分間1対1~3人で気楽に話すことができます。
- 研究や実践の話、キャリアの相談、センパイの経験談などなど、自由に対話してください。

日本語教育を学ぶ大学生・大学院生の方、日本語教育に関わり始めたばかりの方、日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやりたい方などなど、「わかばな人」のご参加、お待ちしております!!(非会員の方も大歓迎!)

開催日時

大会二日目
5月28日 日
12:30~13:30

場所

オンライン
(Zoomブレイクアウトルーム)

申込締め切り

5月12日(金)正午

※「ぶらさdaわかば申込フォーム」
送付の締め切りです。
参加希望メールはお早め
にお送りください。
(定員に達した場合は申込期間
にかかわらず締め切ります。)

申し込み方法

- 1 春季大会申込・参加費支払を
済ませてください(学会マイページ)
- 2 チャレンジ支援委員会事務局に
参加希望メールを送ってください
- 3 事務局から
「ぶらさdaわかば申込フォーム」
URLが送られてきます。
- 4 「ぶらさdaわかば申込フォーム」に
アクセスし、必要事項を記入して
5月12日(金)正午までに送信!

- ※ 春季大会参加申込(大会参加費支払含む)を終えた方が対象です。
- ※ わかばさん参加者決定後、参加URLをお知らせします。
(大会1週間前ごろ、お知らせできる予定です。)

定員最大24名

応募者が多い場合は先着順となります。

件名

「ぶらさdaわかば」参加希望

記入項目

お名前(学会マイページ登録のもの)
メールアドレス等

参加希望メールはこちらへ
challenge@nkg.or.jp



2023春「ぷらさ da わかば」センパイリスト

お名前・ご所属・（専門分野）	センパイからの一言メッセージ
内海 陽子 海外産業人材育成協会（AOTS） （教材開発、専門日本語教育 （就労者向け））	日本語学校や大学での教育経験を経て、就労外国人向けの教材開発を主にしています。また、長く個人事業主として働いてきましたが、今は職員です。キャリア形成に悩んでいる方がいたら、こんな例もあるというお話ができるかもしれません。
神村 初美 日越大学 （専門日本語教育（介護の日本語教育）、協働学習、CLIL（内容言語統合型学習）、教師養成・研修）	専門日本語教育（介護の日本語教育）、協働学習、CLIL（内容言語統合型学習）、教師養成・研修に関心があります。これらに係る実践、研究など、何でも構いません。一緒にお話しできたらと思っています。
櫻井 千穂 大阪大学 （年少者教育、言語習得・発達）	JICA 日本語教師海外派遣、民間企業勤務を経て大学院に進学し、現職につきました。現在は、複数言語環境に育つ子どものことばの力の評価と学校現場での教育実践研究を続けています。わかばさんとお話できるのを楽しみにしています。
中山 英治 大阪産業大学 （教師養成・研修、形態・語彙・意味、構文・文法）	日本語学の分野で博論を書きました。条件文とモダリティを対象にした日本語の仮定性や事実性を包括する概念としてのリアリティの研究です。日本語教育学の分野では、聴解教材・教師間協働・予測文法などの研究があります。
布尾 勝一郎 立命館アジア太平洋大学 （専門日本語教育、言語政策・言語教育政策）	介護・看護労働者に対する日本語教育（政策・教材）がおもな研究テーマですが、「人の移動とことば」全般に関心があります。新聞記者業、海外バックパッカー生活を経てこの世界に入りました。将来の夢はゲストハウスオーナー。
福永 由佳 国立国語研究所 （生活者、多言語使用、識字、フィールドワーク）	日本語教師、教材開発、教師研修などを経験し、いまは研究に携わっています。複数の言語を駆使したり、スマホなどを使ったりと、工夫をして生きる生活者の方々に興味があります。皆さんとじっくりお話できることを楽しみにしています。
藤浦 五月 武蔵野大学 （専門日本語教育、コースデザイン・シラバスデザイン、教材開発、教員養成）	現在はカリキュラム開発、教材開発、教員養成を中心にお仕事をしています。二児の母としてもバランスを取りながら好きな仕事をどう深めようか試行錯誤中です。「これから」について考えている方、一緒にお話ししましょう。
山本 晋也 周南公立大学 （教育実践・教室活動、教師養成・研修、言語と社会・文化）	中国・ベトナムでの教壇経験を経て、現在は地方公立大学で留学生教育を担当しています。主な研究テーマは、日本語教師のライフキャリアや留学生のキャリア形成支援です。教育・研究への質的なアプローチにも関心があります。

